

# “良縁は、海外にあり 良縁は、国益の為に” 『豊泉家グループ 創立30周年を迎えて』

# HCC TIMES



Vol.254  
2024 8



豊泉家グループ 一般財団法人 SF 豊泉家  
〒561-0881 大阪府豊中市中塚塚 3-2-1  
TEL:0120-294-998  
https://www.housenka.com/  
編集元: 統合営業本部 広報部 瀬戸根 将成  
2024.8.1 発行



1994年アメリカにて

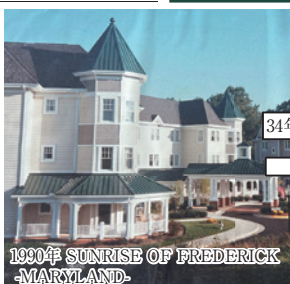


2024年アメリカ  
ポール&テリー・クラッセン宅にて

平素は、当グループに対しましてのご厚情、ご支援誠にありがとうございました。さて、本年6月2日より、11日間渡米いたしました。2019年10月以来、4年8か月ぶりのニューヨークへの出張となりました。今回の出張の最大の目的は、豊泉家グループ創立の源生である、SUNRISE社の創業者ポール・クラッセンさんとの30年ぶりの再会でした。  
ニューヨーク到着の翌日の6月3日に、早速メリランド州の御自宅を訪問いたしました。ポールとは、豊泉家ブランド誕生の1995年4月1日

の前身である、1994年6月以前の再会になりました。ポールとの出逢いは、1989年の夏にバージニア州で投資顧問会社C.I.G. Inc.社長のトム・クラウスさんの紹介でお会いいたしました。用件は、SUNRISE社が計画中のメリランド州フレデリックでのアシステッドリビングホーム(当時米国市場でも新しいビジネスモデルの老人ホーム)A.L.H. 82 Bedへの投資依頼でした。SUNRISE社も、創業して8年目の中小企業でした。フレデリックの老人ホームが7棟目のプロジェクトであったと記憶しております。

このSUNRISE社とのパートナーシッププロジェクトが現在の豊泉家グループの誕生へと繋がりました。1つ目の良縁は海外にあり、良縁は国益の為にのエピソードになります。  
2つ目の良縁は、2006年7月にモンゴルのウランバートルの出逢いです。相手の方は、故人となられました。京セラ元会長稲盛和夫さんです。



1990年 SUNRISE OF FREDERICK MARYLAND



2024年 SUNRISE AT EAST 56TH MANHATTAN

モンゴル建国800年祭へ向かう専用チャーター機(ボーイング777)で偶然乗り合わせました。加えてモンゴル草原での宿泊において、ゲル(テント型住宅)が隣り合わせになり、親交を深めていただきました。一般財団法人SF豊泉家 田中崇博代表理事



2006年7月 京セラ稲盛元会長とモンゴルにて

も同席いたしました。帰国2か月後に、又偶然書店にて稲盛さんの著書である「アメリカ経営」を見つけました。読者の森田直行さんが来訪され、2007年4月1日から1年間アメリカ経営のコンサルティングを受けました。2008年4月1日より本格的に導入し、翌年から急激な収益改善が始まりました。純資産の累積が開始し、グループ全法人への導入も進めてまいりました。

我々豊泉家グループのスローガン(バリュー)として、D.I.Gの3文字を掲げて活動しています。  
D: ダイバーシティ  
I: インクルージョン  
G: グローバリゼーション  
2024年8月1日  
豊泉家グループ代表  
会長 田中成和

## 「第4回認知症セミナー」 「少しでも穏やかな気持ちでケアに 向き合えるように」開催

6月29日(土)新大阪ブリックビル(大阪市淀川区宮原1丁目6-1)にて、「第4回認知症セミナー」を開催いたしました。  
認知症が日本だけではなく、世界全体で社会問題となっている中、皆様とともに認知症ケアについて考える機会を持ちたいという想いから、2023年3月31日に発行された「認知症パラダイムシフト」究極の「D.I.G」を創造するケアメソッド」の発刊記念として始めた「認知症セミナー」。2023年6月に第1回目、10月に第2回目、2024年3月に第3回目を開催し、たくさんの方の反響や、さらなるご要望をいただき、「第4回認知症セミナー」を開催することを決定いたしました。今回も多くのお申し込みをいただき、満員御礼での開催となり、株式会社りそな銀行様、株式会社島津製作所様、野村證券株式会社様、フォーネスライフ株式会社(NECグループ)様、サントス株式会社様よりご賛同ご後援をいただきました。ご参加ご協力いただきました皆様、心より感謝申し上げます。

第1部では、2つの講演を実施いたしました。講演①は社会福祉法人福祥福祉会阿久根賢二理事長より認知症の発症により、次第に生活機能が低下し、出来ないことが増えてしまうが、出来ることもまだまだたくさんある。誰かに頼らないうえに、誰かにもあるが、誰かの役に立てることもある。認知症ケアとは、「その人が、可能な限り自分の力で生きていくことを支えること」だとお話しいただきました。講演②では、大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 池田学教授による「新時代の認知症医療とケア」についてお話しいただきました。認知症の原因疾患、疾患別にケアする方がどのようなことに気を付けなければならないのか、疾患修飾薬の登場に伴う超早期診断と個別化医療についてお話しいただきました。  
第2部のパネルディスカッションでは「介護×医療×テクノロジー」について、阿久根理事長は介護分野、池田教授は医療分野の代表として引き続きご登壇いただき、ファシリテーター兼医療分野代表として慶應義塾大学医学部特任教授 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科特任教授 裴英洙先生、テクノロジー分野代表では、大阪大学産業科学研究所 関谷毅教授にご登壇いただき、認知症基本法が施行され今後の日本がどのように変化していくのか、認知症の予防や治療薬治療方法についてお話しいただきました。  
第5回認知症セミナーは2025年3月15日(土)開催予定です。皆様のご意見ご要望を反映し、より実りの多いセミナーになりますよう、尽力いたします。変わらぬご支援とご協力の程、よろしくお願いたします。  
記者: 広報部 東谷 祐子

HCC北緑丘

舞踊祭

6月23日(日)特別養護老人ホーム豊泉家北緑丘にて「舞踊祭」を開催いたしました。日本舞踊とフラダンスの演者様にお越しいただきジャンルの違う「踊り」をお愉しみにいただきました。

日本舞踊は、イベントが始まる前から若い時にやっていたの！や「なかなか見られる機会がないから楽しみ」とお話ししながらお集まりいただき、開演すると一つひとつの演目に集中して愉しまれていました。

フラダンスでは、華やかな衣装を見て「すごくきれいだね！」やハワイアンソングに合わせて優雅に踊る姿を見て「とても落ち着くね」と仰っていました。何曲もの踊りを披露され、振付の意味を演者様に教えていただきながら一緒に身体を動かして踊りを愉しませていただきました。

いつもとは少し雰囲気の違いもイベントでしたが、終始笑顔でお愉しみにいただくことができました。引き続き、皆様愉しんでいただける企画を考えてまいります。

記者：北村 美果



HCC桃山台

和菓子作り体験



6月7日(金)アシスタッドリビングホーム豊泉家桃山台、28日(金)ケアハウス豊泉家桃山台にて、和菓子処「喜楽様」にご協力いただき、「練り切り」を作る「和菓子作り体験」を開催いたしました。アシスタッドリビングホーム豊泉家桃山台ではサランラップで餡子を包み、くるくると絞ることでシワや動きを付けて「茶巾絞り」や「お花の形をした羊羹をトッピングして緑とピンクの可愛らしい練り切りを作る体験をしていただきました。体験後は2種類の緑茶をご用意し、ご自身で作った練り切りをお召し上がりいただきました。

ケアハウス豊泉家桃山台では、茶巾絞りをした後、好きな形に切り抜いた羊羹を緑の練り切りの上に乗せ、一つひとつ個性溢れる可愛らしい練り切り作りを体験していただきました。

参加された皆様からは「こんな簡単に和菓子が作れるとは思わなかった」「初めて作つたけど楽しかった」等のお言葉をいただきました。今後、ご入居者に愉しんでいただけるよう、尽力してまいります。

記者：摺石 奈々



HCC住之江

ご当地グルメフェア in 大阪



6月28日(金)ケアハウス豊泉家 住之江1階コミュニティホールにて「ご当地グルメフェア in 大阪」を開催いたしました。大阪のソウルフードを作る「会が始まる前から「早く食べたい！」というお声が上がっていました。昼食後の開催にも関わらず、多くの方が「別腹や！」と言つてモリモリ召し上がられていました。久しぶりだったので焼き機を使つて「懐かしい！子どもとよく作つたわ！」や「どれもめっちゃ美味しかった！おかわりが欲しい！」など慣れ親しんだ味を堪能され、お喜びのお声を沢山いただきました。大変嬉しく感じました。

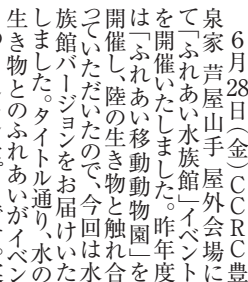
これからも心もお腹も満たされるような楽しいイベントを企画してまいります。

記者：辻丸 春之



HCC芦屋山手

ふれあい水族館



6月28日(金)CRC豊泉家芦屋山手屋外会場で「ふれあい水族館」イベントを開催いたしました。昨年度は「ふれあい移動動物園」を開催し、陸の生き物と触れ合っていたので、今回は水族館パビリオンをお届けいたしました。タイトル通り、水の生き物とのふれあいがイベントのメインコンセプトです。実際に水の生き物に触れていただきながら、ふれあいをお愉しみました。

ドクターフィッシュコーナーでは、水槽の中に手を入れて魚たちとふれあつていただきました。手を入れると小さな魚たちが寄つてくる様子がとても可愛らしく、その様子を笑顔で観察されていました。他にもヒトデ、ウニ、ナマコなどの生き物もいました。触れる恐るそつと、勇氣を出した。恐れるという方や、勇氣を出した。恐れるという方や、勇氣を出した。恐れるという方や、勇氣を出した。

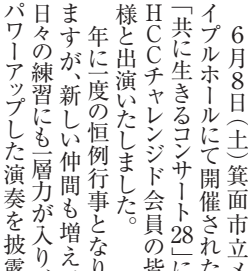
このように、今後も日々の取り組みの成果発表が出来る場を提供し、たくさんの「経験」や「体験」をしていただけるような企画してまいります。

記者：石倉 萌



HCCチャレンジド

共に生きるコンサート28



6月8日(土)箕面市立メアブルホールにて開催された「共に生きるコンサート28」にHCCチャレンジド会員の皆様と出演いたしました。年に一度の恒例行事となりますが、新しい仲間も増え、日々の練習にも層力が入り、パワーアップした演奏を披露できました。

曲目は、「六甲おろし」「みんながみんな英雄」「レット・キス」「オリジナル曲」「チャレンジドハーモニー」を演奏しました。「六甲おろし」では、阪神タイガースのユニフォームに身を包み、会場も大盛り上がり「レット・キス」ではジャンカの振り付けで楽しいダンスを見せつけてくれました！皆様もステイジで笑顔いっぱい、楽しんで演奏していただき、感動しました！

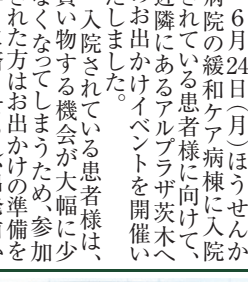
ご家族やアタタースタールの皆様など、大勢の方が応援に駆けつけてくださいました。このように、今後も日々の取り組みの成果発表が出来る場を提供し、たくさんの「経験」や「体験」をしていただけるような企画してまいります。

記者：高崎 孝宜



HCCスカイクラブ

お出かけイベント



6月24日(月)ほうせんか病院の緩和ケア病棟に入院されている患者様に向けて、近隣にあるアルプラザ茨木へのお出かけイベントを開催いたしました。

入院されている患者様は、買い物する機会が大幅に少なくなつてしまつたため、参加された方はお出かけの準備を早々に済ませられ、出発前から楽しみにされていたことが伝わり、嬉しく感じました。事前に購入した商品をリストアップして、さあ出発！お店内を回るように配慮しました。

患者様はお目当ての商品を無事購入できたことに満足された様子で、笑顔が大変明らかでした。後日、患者様のお部屋を訪問した際にお話されていたり、購入されたものを身につけている様子を見て、「一緒にできて良かった」とおっしゃっていました。今後も皆様の癒しはもちろんのこと、喜んでいただける企画を考えてまいります。

記者：岡村 由佳



HCCキッズクラブ

交流会



6月11日(火)桃山台コミュニティに訪問し、デイサービスセンターの皆様と交流を楽しみました。今年度3回目の桃山台コミュニティ訪問というところもあり、緊張する子どもも少なく、「おじちゃんおばあちゃんに会いに行く」と楽しみにしながら向かいました。コミュニティに到着すると、先日のお祭りの雰囲気を感じ、子どもたちにも楽しんでほしい、と用意いただいた輪投げやヨーヨー釣りに大喜びし、お祭り気分を楽しみました！お祭りの方々と一緒にピアノの音楽に合わせて「むすんでひらいて」などの手遊びを愉しみました。青空と眩しい太陽の下で、ご利用者の皆様やフェロの皆様と一緒に子どもたちも思いっきり身体を動かしながら楽しんでました。手遊びうたと体操を披露した後、子どもたちが制作した「がたつむり」をプレゼントしました。そのお礼にと、ご利用者の方からはお菓子のプレゼントをいただき、嬉しそうにお散歩バッグに詰めていた子どもたちでした。

記者：村山 淳子



2024年6月度  
豊泉家大賞・  
フェロー大賞  
月間賞

SWITCH(スイッチ)システム  
導入による

2024年6月1日から稼働した新購買システム「スイッチ」の導入にあたって、ステークホルダーへの使用方法の個別説明や利用フローからの問い合わせ対応など、システムの円滑導入に貢献しました。

また、楽業販売とのめりこみで本化する中で、ほとんどのステークホルダーにおいて現場からの直接接注となり、納期や事務時間の短縮につながるなど利便性向上に大きく貢献したことが高く評価されました。



株式会社豊泉家  
コミュニティフロント  
杉森 ゆらフェロー

統合管理本部

2023年度より、医療健診の案内、予約状況の確認、未受診者への催促、健診結果の振り分け等の管理業務を総務管理部で実施することになり、昨年度は、何度も周知徹底を図りましたが、法定健診はケア、夜勤者健診が4名未受診の結果となりました。

2024年度の医療健診については未受診者0を目指して、日頃より健診科や総務管理部の各法人担当者と連携を図り対応し、豊泉家グループが目指す「健康な心経営」の為に健康診断の未受診者0を目指して行動している点が高く評価されました。



一般財団法人SF豊泉家  
統合管理本部 総務管理部  
定井 友佳里フェロー

第1回HPC (Housekeeping President Club) が開催されました

6月19日(水)アシステッドリビングホーム豊泉家 桃山台4階ボールルームにて第1回HPC (Housekeeping President Club) が開催され、12名の設立発起人と、すべてのドメインから合計35名のCap (キャプテン) が集まりました。

HPCとは、豊泉家グループが導入している、チーム経営システムのCapを会員とするクラブであり、全Capが一丸となって苦業を共にすることや、チームの最高責任者であることに自覚と誇りを持ち、自チームを運営していくことで、豊泉家グループの明るく未来づくりに貢献することを目的として設立されました。

はじめに、HPC発起人代表として豊泉家グループ代表 田中成和会長よりHPCの設立について、質のよいチーム経営について、改めて考えていただくために、皆さんの自己実現のために、また豊泉家グループの継続経営のためにもこの会は中心的役割を果たしていかなければならないと語られています。その後話しただきました。その後話し、主催の一般財団法人SF豊泉家



人財創造本部 宮食崇子本部長より規約説明が行われた後、議長1名と副議長2名が投票により選出されました。



2部のコンパでは会場をケアハウス豊泉家 桃山台6階コミュニティホールに移し、豊食株式会社との美味しいお食事と共に、終始和やかな雰囲気の中でドメインのCapとの交流を深められていました。また、Capからの質問にHPC発起人また、オブザーバーであります幹部陣から回答する質疑応答の時間が設けられました。最後に田中会長より「参加者へのメッセージ」をいただき、閉会となりました。HPCの今後の活動の皮切りとなる記念すべき会となりました。

記者・東谷 祐子



### HFC アサヒビール工場見学

6月22日(土)

「原則約3日で出荷」できたての「うまさ」へのこだわりや「キレのあるうまさ」の秘密を教えてください... 試飲タイムでいただいた出来立てのビールは特別なおいさでした!

ビールは工場の中で約5kmの旅を経てからお店に並ぶそうです!

優勝者には景品が!?

連絡先: NPO 法人 SG 博友会 HFC 担当: 梅本 TEL: 06-6873-3844

### バスケットボールサークルのご紹介

経験者だけでなく、たくさんの初心者やバスケを見るのが大好きな仲間がたくさん集まるサークルです! 社会人になって運動をする機会が減った方はぜひ一緒に汗を流しましょう!

運動が苦手な方でも安心! フリースロー大会も開催!

ぜひお気軽にご参加ください!

連絡先: NPO 法人 SG 博友会 HFC 担当: 梅本 TEL: 06-6873-3844

### リファラル採用フェローのご紹介!

~ご紹介ありがとうございます!~

<p>山田 久瑠美 フェロー North kitchen</p>	<p>小林 睦美 フェロー North kitchen</p>	<p>浅田 和明 North kitchen</p>	<p>櫻原 海都 Peach kitchen</p>	<p>田中 潤亮 Peach kitchen</p>
<p>高光 洋子 フェロー インクル</p>	<p>高光 杏実 フェロー ハッピーローズ</p>	<p>雲戸 裕昌 フェロー Peach kitchen</p>	<p>西山 るみ Peach kitchen</p>	<p>宮本 文貴 Cap Peach kitchen</p>
<p>小倉 敦一 フェロー KCC</p>	<p>小倉 文枝 フェロー KCC</p>			

※一部のご紹介となります!

### リファラル採用 フェロー 紹介システム

最大5万円が支給されます!

豊泉家のフェローや入定者からの紹介で決まったら、紹介者と入定者それぞれに5万円が支給されます!

常勤でも非常勤でも大丈夫! 規定アリ

新制度では内定者からの紹介も対象に! 申請方法も電話一本で楽々簡単になりました!

まずは、お気軽にお問い合わせください

0120-260-314

株式会社ガンバ大阪様との取り組み
Assisted Supportersの活動報告について

Assisted supporters (通称:アシサポ)とは、シルバートナー兼SDGスマイルパートナー契約を締結している、株式会社ガンバ大阪様と共同運営しているプロジェクトです。介護が必要な人(supporter)にも支える人(supporter)になれるということを実現させるための取り組みを実施しております。

今回は、6月30日(日)にパナソニックスタジアム 吹田で行われたガンバ大阪VSFC町田ゼルビアの試合観戦に行きました。皆様、お揃いのガンバ大阪のシャツを着て、出発！この日は、皆様がスタジアムに到着すると、選手紹介のタイミングで大きな花火があがっていました。そして、観戦席に到着されると、から揚げ、フランクフルト、焼きそばなどのスタジアムグルメを愉しまれたり、ピールで乾杯するご入居者もいらっしゃいました！初めて観戦に来られた方は「すごい迫力やね!」と約2万6千人の観客でいっぱいになったスタジアムの様子を驚かれました。フラッグを振りながら応援歌に合わせて拍手をしながら応援されていました。18時キックオフと夕方の時間帯でしたが、水分補給をして安全面にも気を付けてくださり、引き続き、皆様には様々な挑戦をさせていただけるようガンバ大阪様と活動を続けてまいります。



Assisted Supporters

記者:東谷 祐子

HCCチャレンジド チャレンジドUSJツアー

6月20日(木)チャレンジドセンター 豊中 箕面、住之江、チャレンジドホームINCL箕面、チャレンジドホームYHUKI住之江、豊中の皆様と一緒に、第4回「チャレンジドユバールサルスタジアムツアー」(以下USJツアー)を開催いたしました。

ご入居者ご利用者54名と9名の家族にも参加いただき、フェローホームランを合わせると、総勢約120名の大規模なイベントとなりました。



まず、住之江コミュニティに集合して「コミュニティごとに昼食会場へ移動しました。昼食会場を中継で繋ぎました。福祉法人福福福祉会 阿久根 賢一理事長のご挨拶、福井良幸 総合運営本部長、乾井 幹朗 社長による「豊かさを創る」の挨拶、お話ししなさいながら「美味しー!」「色んな乗り物に乗りたい!」「最初にカチューシャを買いたい!」とお話する様子も見られました。しっかりとパワーチャージしてよい出発!

USJに到着すると、シンボルであるユニバースパークを指し示します。パークが近づくにつれ、BGMが大きくなり、キャラクターのタペストリーが見えたと「わー!」と目を輝かせながら「思わず声が溢れてしまう方も。ユバールグループの前で毎回恒例の集合写真を撮影しました。そして10グループに分かれ、チケットを受け取って入場!

アトラクションに挑戦したり、パークグルメを堪能したり、キャラクター達と写真撮り、キヤラクター達と写真撮りの中で、各々のグループでの楽しみ方で過ごしました。中にはパリウッド・ドリームザラドムでスリルを味わうグループも!



集合時間が近づくと最後今日の思い出や家族への土産をどれにしようか選んで購入。袋、キヤラクターグッズを身につけて「楽しかった!」「また来たい!」とUSJを満喫されている様子です。今回も大人様でのイベントでしたが、ご入居者ご利用者の安全を最大限考慮し、全員が無事に帰路に就く事ができました。これからも皆様に安心安全にお愉しみにいただけるようなイベントをHCC(豊泉家コミュニティクラブ)を通じて開催してまいります。また次回もイベントで皆様と一緒にできることを楽しみにしています。

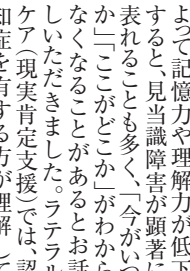


記者:増田 翔子

「認知症家族の会」第27回グリーンオアシスの会

6月24日(月)ケアハウス豊泉 桃山台6階コミュニティホールにて「グリーンオアシスの会」を開催いたしました。

第1部の社会福祉法人福福福祉会 阿久根 賢一理事長による認知症講座では「認知症パラダイムシフト」究極の「nii」を創造するケアメソッド」を教材としてこの講話いただきました。そして第4章「ラテラルケア」実践の心得から「相手の世界観を共有し支援する」より、認知症によつて記憶力や理解力が低下すると、見当識障害が顕著になると、見当識障害が顕著になると、「ここがどこか」がわからなくなることがあるとお話いただきました。ラテラルケア(現実肯定支援)では、認知症を有する方が理解している世界を「現実」と捉え、本人の「現実の世界」にチャンネルを合わせながら支援します。介護者が認知症を有する方についての「現実」を否定するのではなく、あくまで肯定的に受け止め、本人の「現実」に入り込みながら状況に応じた支援を行うこととお話いただきました。



第2部の座談会では、入居された方のご家族が、ホームに慣れて、落ち着いて過ごされているなどの近況をお話いただきました。これからも一人でも多くの認知症を有する方と、そのご家族の心のオアシスになれるよう取り組んでまいります。

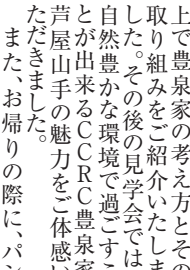


記者:東谷 祐子

芦屋市打出浜地域民生委員会「認知症セミナー&見学会」を開催いたしました

7月9日(火)CCR豊泉 家 芦屋山手バイナホールにて、芦屋市社会福祉協議会様より見学会の要望をいただいたの皆様にとつても身近な問題となつて「認知症」についてのセミナーを開催いたしました。

認知症セミナーでは、認知症とは何か、どのような症状が現れるのか等の様なケアの方法があるのか等を、西脇麻衣子ミニテイ長の実体験も交えながらご講話いただきました。その上で豊泉家の考え方やその取り組みをご紹介いたしました。自然豊かな環境で過ごすことが出来るCCR豊泉家 芦屋山手の魅力をご体感いただきました。



また、お帰りの際に、パンデRainbowのパン・レモンジュをお土産にお渡しし、豊泉家のチャレンジドの取り組みについてもお話しいたしました。「美味しかった!」「このパンは芦屋でも買えないの?」とご好評いただきました。ご好評いただき、「実際に見学してみてもよかったです!」「認知症の事例も聞いてよかったです!」といったご感想もいただきました。今後、地域貢献の環として、今回のような企画や様々な取り組みを進め、地域の皆様に愛されるコミュニティ創りを目指してまいります。



記者:江崎 隆介

第3回「成和塾」開塾

6月15日(土)第3回目の成和塾が開催されました。今回は「塾長と塾生のベクトルを合わせ、相互信頼を深める」とのテーマを掲げ、通常開催とは異なり、「SUNRISE E号」にて特別クルージング開催となりました。新西宮グッホハーバーから淡路島へのクルージング道中と昼食を愉しみつつ、普段より和やかな場の中、田中成和塾長より豊泉家のルーツやこれまでの経営経験や目指すビジョンなどをお伺いしました。また、塾生同士の交流も含め、成和塾全体で苦楽の「楽」の部分をもにすること

で、これからの活動に弾みをつける相互信頼を深める機会となりました。



記者: 永田 真優

新卒採用対象者を 紹介すると5000円プレゼント!!
1 紹介者が右記 QR コードから申請済であること
2 ①の後に、紹介された学生の選考が始まること
3 翌月給与支払い日に紹介者が在籍していること
連絡先: 人材開発マネジメント部 TEL: 0120-260-314 Mail: zinzei@e-housenka.com

おしえて ゆたかくん!
豊泉家で特別な想いを持って使用している言葉「豊泉家ワード」をゆたかくんが解説いたします!
●フェロー→豊泉家では、職員・社員・従業員と言わず、同志という想いを込み、フェローと呼んでいます。
●お客→豊泉家のサービスをご利用の皆様。豊泉家ではパーソナルを重んじ、お客様のことを「お客」と呼称しています。
●チャレンジド→神様より挑戦する使命を与えられた人たちという意味です。
●家→人と人とのつながりを表す「縁」という言葉。
●家業→豊泉家では働く皆さんの「家業」を豊泉家を利用してくださるお客様の皆様、ともに支えていた企業やボランティアの皆様との「御縁」を大切にしていきたいという願いを込め、豊泉家でつながる縁を「家業(かえん)」と呼んでいます。
●ステークホルダー→一般的には利害関係者の総称ですが、豊泉家では家業でつながった外部企業および個人を意味しています。

地域のお祭りでお渡しするオリジナルデザインのうちわを作成いたしました!
8月 豊泉家グループからのお知らせ
・新北島納涼盆踊り大会 8月2日(金)、8月3日(土)
・新千里東町夏祭り 8月17日(土)
・福井地区ふれあい祭 8月24日(土)
・豊中まつり 10月19日(土)、10月20日(日)